



ドライクリーニング指定で 溶けたり変質してしまうもの

ドライクリーニングに使用している液体は、有機溶剤と言われる油脂分を溶かす作用のあるものです。アパレルメーカーによるドライクリーニング指定が不適切な場合、溶けたり変質してしまうものがあります。



ギャザーの部分などに**天然ゴム**が縫い込まれている場合、天然ゴムがドライクリーニング溶剤を吸い込んでダラリと伸びてしまいます。

顔料という着色剤でプリントされている柄は、顔料を接着している樹脂接着剤がドライクリーニング溶剤で溶けて、顔料が落ちて色が薄くなってしまいます。

塩化ビニルという樹脂で作られた合成皮革製品は、柔軟にさせていた加工剤が、溶剤に溶けだして本来の硬さに戻り、バリバリと割れてしまいます。

このような素材や加工が使用されている製品には、品質表示者はドライクリーニングできないという表示をつけなければ適切とはいえません。

絵画の中の洗濯風景

川辺で洗濯する女性



Daniel Ridgway Knight 1908年

ダニエル・リッジウェイ・ナイトは、アメリカのペンシルバニア州生まれですが、後にフランスに移住しルノワールなどの画家に学び、畑で働く農民や、川辺で水を汲んだり洗濯をしたりといった日々の家事を描く画家として知られています。

この絵はパリ近郊の川辺での洗濯風景を描いたものということです。向かって左の女性の手にはラケット状の板が握られています。19世紀の洗濯風景には、このようなラケット状の板や木の棒などを使って洗濯物を叩いて洗う様子が見られます。ちょっと乱暴のようですが、洗剤の力が弱い当時は、叩き洗いによる汚れの洗い出しが効果的でした。日本でも本来は綿や麻織物の艶出しのために使われていた砧（きぬた）という棒状の道具を利用した叩き洗いが行われていたといえます。

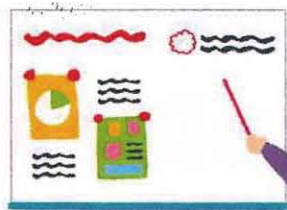
HomeDry News

ホームドライニュース No.108



- 絵画の中の洗濯風景：
川辺で洗濯する女性
- 衣生活の知恵：
ドライクリーニング指定で溶けたり変質してしまうもの
- 衣類のケア講座：
繊維製品を購入するときは正規の品質表示を確認





衣類のケア講座

繊維製品を購入するときは 正規の品質表示を確認

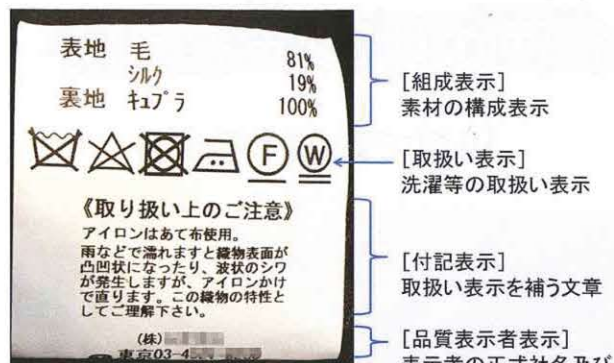
最近スマホを使った海外サイトからのファッション製品のネット通販が急激に普及してきました。特に、中高生などの若年層の利用が目立ってきています。これはTikTok やツイッターなどの SNS 広告で気軽に中国などの格安のファッション製品が直輸入できるようになったためです。Z世代に人気になっている中国ファストファッションブランドのサイトを見ると女の子のワンピースが1000円程度で売られていることに驚きます。

しかし、一方では通常の洗濯やクリーニングによって変色したり変形したりというトラブルが多発しているという声が聞かれるようになりました。

●繊維製品の品質は縫い付けラベルで確認しましょう

日本国内で販売される繊維製品は、家庭用品品質表示法という法律と日本工業規格(JIS)によって、品質に責任を持つメーカーや販売業者による素材と取扱いに関する表示が義務付けられています。この情報は製品に縫い付けられるラベル(ケアラベル)に表示されていますので、決して切り取らないようにしてください。

ケアラベルに表示しなければならないのは以下の項目です。



[組成表示]
素材の構成表示

[取扱い表示]
洗濯等の取扱い表示

[付記表示]
取扱い表示を補う文章

[品質表示者表示]
表示者の正式社名及び住所または電話番号

①組成表示(必須):製品に使用されている繊維素材の構成を重さ順に%で表示します。

②取扱い表示(必須):洗濯やクリーニングについての処理方法について記号で表示します。[洗濯][漂白][乾燥][アイロン][クリーニング]の最低基本5種類の記号を順番通り表記しなければなりません。例えば、[洗濯][漂白][乾燥]の3点しか表示が無い場合、[アイロン][クリーニング]については、どんなに過酷な処理をしても問題ないということを意味することになります。またこの記号は、JIS規格でプロのクリーニング業者の参考と定められていますので、原則としてこの記号に従ってクリーニングしています。

③付記表示(任意):取扱い記号だけでは十分でない場合、「経年劣化で黄変することがあります」といったアドバイスを表記します。

④表示者表示:品質表示の責任を持つメーカーまたは販売業者の正式名称と必ず連絡の取れる住所または電話番号。

上の写真の取扱い表示記号の意味は、「洗濯できません」[漂白できません][家庭用乾燥機は使えません][アイロンは中温][弱い石油系ドライクリーニング][とても弱いウエットクリーニング]という意味になります。このことから、この製品はプロのクリーニング業者に依頼してくださいということになります。クリーニング店ではこの表示を参考にします。

●海外ネット通販製品でも同様の国際規格による表示が義務付けられています

例えば、外国の販売業者からファッション製品を購入したとしても、日本とほぼ同様の表示をすることが国際規格(ISO)によって定められています。記号表示と表示方法についても世界共通のものとなっています。

【ある中国ネット通販の事例】

このケアラベルは、スマホの SNS 広告で購入した樹脂プリント柄のTシャツに付けられていたものです。製品は、国際荷物として中国から届けられました。

ケアラベルの取扱い表示は基本5記号ではなく4記号だけです。クリーニングの記号が無いということは、どのようなクリーニングをしても良いという意味になります。

また、このラベルには中国製とあるだけで、品質表示者の名称と連絡先の表示がありません。もし、この製品をドライクリーニングして、色落ちしてしまったら、表示が間違っていたということになります。

このケースでは、購入者が家庭で洗濯したところプリント柄が剥げ落ちてしまいました。しかし、このことについて品質表示者は不明ですし、中国ですから問い合わせできません。このような製品を買ってしまった消費者の自己責任ということになってしまいます。

